

めざそう値の指標解説

頁	節	項	指標	出典・計算根拠	めざそう値(28年度)設定の考え方
45	1	1	市民活動(地域活動、NPO活動、ボランティア活動など)に参加している人の割合	市民意識調査による。「日頃積極的に参加している地域貢献活動団体」という質問に対して、「町会・自治会」、「ボランティア団体」、「PTA」、「NPO法人」、「子ども会育成会」、「企業による奉仕活動」、「その他」と回答した割合。	市民意識調査結果より、町会・自治会、ボランティア団体への参加割合が微増しているが、大きく数値を伸ばすほどではない。32年度の目標達成までに計画的に数値増を図るため、28年度までは35%をめざす。
45	1	1	市が協働する事業件数	市民自治課(旧協働推進課)が実施した庁内実態調査による。	第2次協働推進計画(H24~H28)で、「市が協働する事業件数」について、200件を目標値として設定しているため、その数値をめざす。
45	1	1	NPO法人の数	千葉県NPO情報ネットホームページによる。松戸市内で活動している、県知事認証(主たる事業所が松戸市内にある団体)及び内閣府認証(主たる事業所が松戸市内にある団体)のNPO法人の数。	平成25年10月31日現在で松戸市のNPO法人数が147団体である。NPO法人数は年々増加していることから、目標値である150団体を前倒しでめざす。
45	1	1	中間支援分野で活動している団体の割合	「市民活動団体アンケート調査」による。「どのような分野の活動をしていますか」という質問に対して、「団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動(中間支援団体)」と回答した割合。	現状値が10%以下であり、平成32年度の目標値達成へ向けて実現可能な数値まで引き上げることをめざす。
51	1	2	身の回りで人権が守られているとと思っている人の割合	市民意識調査による。「あなたの身の回りでは人権が守られていると思いますか」という質問に対して、「人権問題は特にない」と回答した割合。	平成24年8月に内閣府が実施した「人権擁護に関する世論調査」における、「人権を侵害されること」について、「少なくなってきた」(12.1%)と、「あまり変わらない」(46.5%)と答えた人の合計の割合をめざす。
55	1	3	固定的性別役割分担を支持しない人の割合	市民意識調査による。「『男は仕事、女は家庭』という考え方に同感する方ですか」という質問に対して、「同感しない」と回答した割合。	第4次実施計画めざそう値を達成したことを踏まえ、引き続き支持しない人の割合の増加をめざす。

頁	節	項	指標	出典・計算根拠	めざそう値(28年度)設定の考え方
55	1	3	女性の就業割合	市民意識調査による。20～64歳の女性で職業を、「会社員」、「公務員」、「自営業」、「アルバイトやパート」と回答した割合。	現状値（24年度）が後期基本計画作成時のめざそう値を超えたこと踏まえ、更なる就業割合の増加をめざす。
61	2	1	生きがい感を持っている人の割合	市民意識調査による。「あなたは日頃、生活の中で生きがいを感じていますか」という質問に対して、「大変感じている」、「かなり感じている」、「ある程度感じている」と回答した割合。	32年度めざそう値と現状とのおおよそ中間である21年度の値まで回復させることをめざす。
61	2	1	本人が健康であると思う人の割合	市民意識調査による。「あなたは今、健康だと思いますか」という質問に対して、「非常に健康だと思う」、「健康な方だと思う」と回答した割合。	高齢化がすすみ、健康に不安をもつ市民はさらに増加すると推測されるが、関連部署との連携により、24年度の現状値である67%の維持をめざす。
61	2	1	健康づくりに関する講座やイベントへの参加者数	健康推進課資料による。	高齢化の進展も鑑み、事業内容も考慮しながら、24年度の現状値を基に、32年度のめざそう値とのおおよそ中間値である1,100人の参加者数をめざす。
61	2	1	ホームドクター（かかりつけ医）を持つ人の割合	「健康松戸 21Ⅲ計画」の市民アンケート調査による。	「健康松戸 21Ⅲ計画」の市民アンケート調査における上昇率を基に60%をめざす。
61	2	1	多様な世代と交流する機会のある人の割合	市民意識調査による。「多様な世代との交流の満足度」という質問に対して、「十分満足している」、「まあまあ満足している」と回答した割合。	24年度の実績値が4.5%と、21年度から低下したため、25年度めざそう値と同じ値になるが、32年度めざそう値と現状との中間値をめざす。
71	2	2	日常生活に対して不安を感じていない人の割合	市民意識調査による。「生活の中で不安になったり、心配になったりすることがありますか」という質問に対して、「特にない」と回答した割合。	28年度のめざそう値としては、第4次実施計画期間でのめざそう値と同様に3%を維持することをめざす。
71	2	2	地域包括支援センター・在宅介護支援センター相談件数	地域包括支援センター及び在宅介護支援センターへの相談件数の実績値による。	32年度のめざそう値を視野にいれ、地域包括支援センターのPRをし26,000件の相談をめざす。
83	2	3	子育ての満足度	市民意識調査による。「生活の中で不安になったり、心配になったりすることがありますか」という質問に対して、「出産や子育て」を選ばなかった割合。	28年度のめざそう値としては、第4次実施計画期間でのめざそう値と同様に90%台を維持することをめざす。

頁	節	項	指標	出典・計算根拠	めざそう値(28年度)設定の考え方
83	2	3	就労希望はあるが保育サービスが利用できないため就労していない人の割合	「松戸市次世代育成に関する調査報告書」による。	「松戸市子ども子育て支援に関するアンケート調査」(平成25年度実施)による、就労希望はあるが保育サービスを利用できないために就労していない人の割合6.81%に対し、待機児童解消対策計画事業の展開(平成26年度4月1日で入所申込者全員の受入を目指す。)等により、5%をめざす。
83	2	3	合計特殊出生率	千葉県健康福祉部健康福祉指導課資料による。	平成24年度実績が松戸市人口推計(平成21年1月、担当課:政策調整課)をすでに超えているため、28年度は、松戸市人口推計32年度の1.33人と24年の実績1.30との中間値1.32をめざす。
92	2	4	患者満足度	病院事業管理局経営改革課「患者満足度調査(入院)」による。「家族や友人への推薦」、「医師の診察・診療内容」、「看護師の看護や対応」の平均満足度。	25年度で目指す60%台の顧客満足度が増加するよう努力する。
92	2	4	平均在院日数	市立病院医事課資料による。	25年度のめざそう値は達成できそうなので、32年度めざそう値を目標に、更に平均在院日数の短縮をめざす。
93	2	4	紹介・逆紹介率	市立病院医事課資料による。	平成25年8月6日に地域医療支援病院の承認を得たことから、施設基準の一部である紹介率40%、逆紹介率60%以上をクリアし、維持することをめざす。
93	2	4	一般病床利用率	市立病院医事課資料による。	市立病院経営において、損益分岐点を超えるためには、本指標が90~92%以上になっている必要がある。また、急性期病院として、常に10%程度の余裕ベッドを確保しておく必要があるため、90%をめざす。
93	2	4	年間手術件数	市立病院医事課資料による。	年間手術件数は約3,900~4,500件で推移している。 手術室稼働率やコスト削減のための改善の取り組みと併せ、現行の病院機能キャパとして最大値である16年度の4,550件をめざす。

頁	節	項	指標	出典・計算根拠	めざそう値(28年度)設定の考え方
93	2	4	経常収支比率	病院事業管理局経営企画課資料による。	繰入金が増減が医業収益と連動するため、政策医療分の繰入金を含めた経営視点から、経常収支比率 100%をめざす。
103	3	1	目標をもって学校生活をしている児童生徒の割合	教育研究所「児童生徒の学校生活に関する調査」による。「総合充実度」の割合。	教育課程の工夫に広がりが見られるようになったため、25年度のめざそう値は23年度に達成した。今後も微増になるとし、77.8%をめざす。
103	3	1	授業が楽しいと感じている児童生徒の割合	教育研究所「児童生徒の学校生活に関する調査」による。「授業に対する満足度」の割合。	基礎学力の定着に向けた学習意欲の向上への取組みが行われ、25年度のめざそう値は23年度に達成した。今後も微増になるとし、68.1%をめざす。
103	3	1	学校での「心の豊かさ」を育む体験活動の実施回数	教育課程の報告による。「福祉教育」「環境教育」の実施回数。	限られた授業時間数の中で学習指導内容が増える一方で、「心の豊かさ」を育む体験活動が縮小されていくと予測されるが、21年度の現状値から、24年度まで毎年10回ずつ増やしていたが、25年度からは毎年5回ずつ増とし、1,975回をめざす。
111	3	2	学習活動を行っている市民の割合	市民意識調査による。「あなたは日頃、特定の関心があるテーマについて、自主的に学習活動をしていることがありますか」という質問に対して、「ほぼ毎日」、「週に数日ほど」、「月に数日ほど」と回答した割合。	前期基本計画の中で一番高かった実績値45%まで戻すことをめざす。
111	3	2	学習活動の成果を地域社会で活かしている市民の割合	市民意識調査による。「あなたがこれまでに、自主的に取り組んだ学習活動の成果が活かされていると思いますか」という質問に対して、「活かされている」と回答した割合。	前期基本計画の中で一番高かった実績値70%まで戻すことをめざす。
111	3	2	目的をもって部活動をしている児童生徒の割合	保健体育課「児童生徒の部活動の加入率」による。	32年度のめざそう値から逆算した数値をめざす。

頁	節	項	指標	出典・計算根拠	めざそう値(28年度)設定の考え方
111	3	2	スポーツを行なっている市民の割合	市民意識調査による。「あなたは日頃、運動・スポーツをしていますか」という質問に対して、「現在も継続的にしている」、「最近、始めた」と回答した割合。	32年度のめざそう値から逆算した数値をめざす。
119	3	3	史跡や神社、仏閣など歴史・伝統文化遺産の満足度	市民意識調査による。「史跡や神社仏閣など歴史・伝統文化遺産の満足度」という質問に対して、「十分満足している」、「まあまあ満足している」と回答した割合。	歴史、伝統文化遺産の対象物の増減の変化は少ないと予測するため現状値を維持することをめざす。
119	3	3	文化・芸術に親しむ市民の割合	市民意識調査による。「あなたは日頃、絵画、音楽、映像、演劇などの芸術文化を鑑賞したり、創作や実践することがありますか」という質問に対して、「鑑賞し、自分でも創作や実践もしている」、「よく鑑賞するが、自分では創作や実践はしない」、「時々鑑賞している」と回答した割合。	余暇休暇の多様化により、緩やかな上昇を見込み、32年度のめざそう値をめざす。
119	3	3	外国籍市民と交流している人の割合	市民意識調査による。「あなたは日頃、松戸市に在住したり、滞在したりしている外国の方達と親しく接することがどのくらいありますか」という質問に対して、「大変よくある」、「しばしばある」と回答した割合。	1年につき、0.1ポイントずつの増加をめざす。
119	3	3	外国人市民で暮らしに満足している割合	国際交流担当室「松戸市における外国人市民生活アンケート」による。	外国人市民で暮らしに満足している割合は、少しでも現状よりアップすることをめざす。
119	3	3	世界平和都市宣言の認知度	平和事業参加者へのアンケートによる。松戸市が世界平和都市宣言をしていることを知っている人の割合。	第4次実施計画において、23年度は52.0%、24年度は53.0%、25年度は54.0%と毎年1ポイント増の目標値を設定してきたが、24年度の現状値が58.2%と目標値を達成しているため、24年度より1ポイントの増加をめざす。

頁	節	項	指標	出典・計算根拠	めざそう値(28年度)設定の考え方
129	4	1	災害に対して自ら対策を講じている人の割合	市民意識調査による。「あなたは日頃、防災のための準備をしていますか」という質問に対して、「対策を講じている」と回答した割合。	東日本大震災を受け、災害に対して自ら対策を講じている人の割合は目標をクリアするほどの伸びを見せたが、時間が経つとともに事前対策の重要性への関心が薄れる懸念もあるため、現状より微増状態で維持することをめざす。
129	4	1	総合防災訓練への対象団体の参加率	危機管理課資料による。参加団体÷対象団体×100(対象団体とは、防災訓練の際に参加依頼をする団体)	常に100%をめざす。
129	4	1	自主防災組織の訓練実施率	危機管理課、消防局予防課資料による。(出前講座等の座学を含む)	現状、自主防災組織の訓練実施率が高い水準にあるので、そこから更に年に1ポイント実施率を増やすことをめざす。
129	4	1	自主防災組織の結成率	危機管理課資料による。	常に100%をめざす。
133	4	2	出火率(火災件数/対人口1万人)	消防局予防課資料による。火災件数/対人口1万人	人口が増加すれば火災件数は、比例して高くなる傾向にあるが、火災件数を抑えることにより昭和35年以降、最も低い値であった平成21年の2.4を上回らないことをめざす。
133	4	2	住宅用火災警報器の設置率	消防局「住宅用火災警報器の普及調査」による。	過去7年間の新築住宅世帯数の平均値が2.01%の為、4年後は8.04%増加する。残りの2.36%は、4年間の普及活動によりめざす。
141	4	3	心肺停止傷病者の1ヶ月生存率(1ヶ月生存者数/心肺蘇生実施者数)	消防局救急課資料による。「救急隊員の行った心肺蘇生率」の割合。	過去3年間の実績に基づく平均値をめざす。
141	4	3	救急入電から医療機関に収容するまでに要する時間	消防局救急課資料による。	過去3年間の実績に基づく平均値をめざす。
147	4	4	温室効果ガス削減量(CO ₂ 換算)	環境政策課「松戸市減CO ₂ 大作戦」による。国・県等の統計データを活用し、松戸市全体の温室効果ガス排出量をCO ₂ 換算で算定した。	松戸市減CO ₂ 大作戦の中期目標達成に必要なCO ₂ 削減量を計算したものと、352,400t削減をめざす。
147	4	4	廃棄物の最終処分量	廃棄物対策課資料による。	松戸市ごみ処理基本計画で目標値として設定した14,000tをめざす。

頁	節	項	指標	出典・計算根拠	めざそう値(28年度)設定の考え方
147	4	4	二酸化窒素の環境基準達成率	市内の大気常時監視測定局 4 局のデータによる。	市民・事業者および市がそれぞれの努力により、大気環境の保全を促進させ、24 年度より引き続き全局の環境基準値達成を維持することをめざす。
157	4	5	刑法犯認知件数（対 1 千人）	千葉県警「犯罪統計」による。	6,550 件×1,000 人/495,000 人 = 13.2 件 指標である認知件数の減少傾向を勘案し 24 年度より引き続き減少をめざす。
157	4	5	防犯用品貸与団体数	5 人以上で防犯活動を行う者に対し、松戸市防犯用品貸与要綱に基づき、防犯用品を貸与しており、その貸与団体の累計数。	現状値に対し 1.5% 増を見込んで設定し、317 団体をめざす。
157	4	5	交通事故による死傷者数（対 1 千人）	千葉県警「交通事故統計ちば」による。	1,700 人×1,000 人/495,000 人 = 3.4 人 指標である交通事故による死傷者数の減少傾向を勘案し、24 年度より約 6% の減少をめざす。
157	4	5	交通事故の発生件数（対 1 千人）	千葉県警「交通事故統計ちば」による。	1,400 件×1,000 人/495,000 人 = 2.8 件 指標である交通事故発生件数の減少傾向を勘案し、24 年度より約 3% の減少をめざす。
157	4	5	消費者トラブルに巻き込まれた人の割合	市民意識調査による。「あなたは、この 1 年間に買い物などの消費の際にトラブルや被害にあったことがありますか」という質問に対して、「トラブルや被害に巻き込まれた」と回答した割合。	消費者トラブルは悪質商法のみならず、消費者と事業者間との認識の齟齬からも発生してしまうことから、皆無とすることは困難である。まずは事ある毎に悪質商法の注意喚起を行うことで、消費者被害の減少をめざす。 消費者トラブルに巻き込まれた人の割合が、21 年度 9.0% から 24 年度 8.4% に減少したことを踏まえ、28 年度のめざそう値を設定した。
163	4	6	緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合	市民意識調査による。「緑地・河川などの自然環境の満足度」という質問に対して、「十分満足している」、「まあまあ満足している」と回答した割合。	24 年度現状値(22.0%)をベースに 32 年度(25%)のめざそう値から逆算した数値をめざす。 $22.0\% + (25\% - 22.0\%) \times 4 \text{ 年} / 8 \text{ 年} = 23.5\%$

頁	節	項	指標	出典・計算根拠	めざそう値(28年度)設定の考え方
163	4	6	里やまボランティア活動団体数	みどりと花の課資料による。	緑を守り育てる団体の拡充に向け、毎年1回、里やまボランティア入門講座を開催している。講座終了後に受講者が自主的にボランティア団体を結成している。入門講座を年1回予定しているため、24年度現状値に対し新規の活動団体数1団体/年の増をめざす。 24年度末 15団体(注) + (1団体 × 4年) = 19団体 (注)24年度末現在 活動中 14団体 活動準備中 1団体
163	4	6	花いっぱい運動活動団体数	みどりと花の課資料による。	花をテーマとしてグループが生まれ、地域コミュニティが育っていくことをめざす。今までの実績値では年平均5団体づつ増加しているが、活動の主体である町会・自治会数が増加傾向にないことから、年3団体の増加をめざす。 24年度末 88団体 + (3団体 × 4年) = 100団体
163	4	6	公園緑地活動団体数	公園緑地課資料による。	今までの実績値から毎年度3団体の増加をめざす。
163	4	6	身近で、緑が守られ、増えていると感じる人の割合	市民意識調査による。「あなたは、身近で街路樹や緑地が守られ、増えていると感じていますか」という質問に対して、「守られ、増えていると感じている」と回答した割合。	緑の保全、緑化の推進、公園整備を引き続き進めながら、既存ストックとしての公園緑地等や民有緑地への市民全体の利活度向上によって、意識指標を引き上げることをめざす。 24年度現状値(8.2%)をベースに32年度のめざそう値(18%)から逆算した数値をめざす。 $8.2\% + (18\% - 8.2\%) \times 4年 / 8年 = 13.1\%$
168	5	1	快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合	市民意識調査による。「まちの賑わいや買い物の便」「通勤・通学などの交通の便」「道路、公園、下水道などの都市施設」「特色ある祭りや地域ぐるみのイベント」の4項目の総合満足度を算出し、「十分満足している」と「まあまあ満足している」を合計した割合。	32年度のめざそう値から逆算した数値をめざす。

頁	節	項	指標	出典・計算根拠	めざそう値(28年度)設定の考え方
168	5	1	商業の年間商品販売額	千葉県「19年商業統計調査」による。	23年の東日本大震災が商業分野に与えた影響は大きく、個人消費が大幅に落ち込んだものと思われる。現在は持ち直しの動きも見られるが、28年度は将来めざす方向として、準商業中心都市に戻すため、19年当時の年間販売額の10%減で抑えることをめざす。
168	5	1	製造品出荷額	千葉県「工業統計調査」による。	23年の東日本大震災が全国の企業の事業活動に与えた影響は大きく、電力制約、電力コスト上昇の影響等により業績は悪化したものと思われる。しかし、復興需要による回復も見込めるが、今後の予想がつかない中で23年当時の製造品出荷額の10%減で抑えることをめざす。
168	5	1	農用地利用権設定面積	農政課資料による。	農地利用集積円滑化事業による遊休農地と荒廃農地解消事業を推進し、20年から24年の農地利用権設定面積の平均値をめざす。
169	5	1	松戸の良さを伝えるために取り組んでいる市民の割合	市民意識調査による。「あなたは日頃、松戸の良さを他の人に伝える活動をしていますか」という質問に対して、「日常的にしている」、「ときどきしている」と回答した割合。	32年度のめざそう値から逆算した数値をめざす。
169	5	1	主要観光スポットの観光客数	文化観光課資料による。	24年度に対し約3%増をめざす。
176	5	2	新規求人倍率(松戸市内)	ハローワークまつど「市町村別資料」による。	求人求職のバランスのとれた状態をめざす。
176	5	2	65歳以上の完全失業率	国勢調査による。労働力状態(松戸市)の失業率の割合。	22年度実績に対し0.4ポイント減をめざす。(中間値)
176	5	2	20歳代の就業率	国勢調査による。労働力状態(松戸市)の20~29歳までの就業率の割合。	22年度実績に対し1.2ポイント増をめざす。(中間値)
176	5	2	就業者数	国勢調査による。労働力状態(松戸市)の労働力人口中の就業者数。	17年度実績をめざす。

頁	節	項	指標	出典・計算根拠	めざそう値(28年度)設定の考え方
177	5	2	障害者法定雇用率を達成している企業の割合(松戸市内)	松戸公共職業安定所「市町村別の雇用状況」による。	25年4月より民間企業の法定雇用率が0.2%引き上げられた結果、平成25年6月1日現在の市内事業所の法定雇用率達成企業割合が27%(前年比▲8.6%)に低下したため、24年度現状値に戻すことをめざす。
177	5	2	障害者法定雇用率を達成している企業数	松戸公共職業安定所「市町村別の障害者雇用状況」による。	「障害者法定雇用率を達成している企業の割合」を達成するため必要な企業数。 ※平成25年6月1日現在、障害者雇用を義務付けられている市内事業所(従業員50人以上)100社。
181	5	3	安心やゆとりを感じている人の割合	市民意識調査による。「保健・医療・福祉サービス」「緑地・河川などの自然環境」「空気のきれいさ、騒音・悪臭などの公害の少なさ」「まち並み、建物などまち全体の景観」「住環境のゆとりなどの住宅事情」「事故や災害に強い安全なまち」の6項目の総合満足度を算出し、「十分満足している」と「まあまあ満足している」を合計した割合。	13年度の実績値24.6%と21年度の実績値26.9%の増率である年0.2875ポイントから推計し、28年度で33%をめざす。
181	5	3	最低居住面積水準未達率	総務省統計局「住宅・土地統計調査」による。	平成18年度策定の「住生活基本計画」(全国計画)において、早期に解消をめざすとしていることから、同様の考え方で設定したものをめざす。
181	5	3	景観づくりに参加する人の数	都市計画課「私の好きな景観スポット」応募者数による。	目標値を前年度より4~5人の応募者増をめざす。
181	5	3	地区計画策定面積	都市計画課資料による。 紙敷地区地区計画(51.0ha)、秋山地区地区計画(40.4ha)、関台地区地区計画(10.4ha)、高柳地区地区計画(2.2ha)、馬橋駅西口地区地区計画(0.9ha)、みのり台駅南地区地区計画(0.5ha)	地区計画は、基本的には住民の発意によって策定するが、地域住民が主体的にめざしたい地域づくりを実現化出来る柔軟な都市計画制度なので、市としても活用していきたいと考えている。後期基本計画期間内は年2haの増加をめざし、28年度には119haをめざす。

頁	節	項	指標	出典・計算根拠	めざそう値(28年度)設定の考え方
188	5	4	道路のバリアフリー地区別完了率	道路のバリアフリー化整備地区÷道路のバリアフリー化対象地区 バリアフリー化対象地区とは「松戸市交通バリアフリー基本構想」における策定対象としてあげている地区。	まずは現在着手している2地区の整備完了をめざす。
188	5	4	鉄道駅のバリアフリー化率（ワンルート整備率）	ワンルート整備された駅÷バリアフリー化対象駅 ワンルート整備とは、ホーム階から地上（改札を經由）までの段差をエレベーター等で解消し、車いす利用者などが円滑に移動できる経路を1駅に1経路確保すること。	鉄道事業者の投資計画が明確になったことから、28年度までに対象となる22駅中20駅のワンルート整備をめざす。 ワンルート整備：H25 現在18駅／22駅 H26 新京成線松戸駅（予定） H28 JR新八柱駅（予定）
188	5	4	鉄道の混雑率（緩行電車）	運輸政策研究機構発行「数字で見る鉄道」による。ピーク時(7:30~8:30)の混雑率。	鉄道の利便性向上のため、鉄道事業者へ運行本数の確保や編成数の増量を要望し、運輸政策審議会答申の長期目標である32年度のめざそう値から逆算した数値をめざす。(常磐線緩行電車) $165\% - 4年 \times (165\% - 150\%) / 8年 = 158\%$
189	5	4	鉄道の混雑率（快速電車）	運輸政策研究機構発行「数字で見る鉄道」による。ピーク時(7:30~8:30)の混雑率。	鉄道の利便性向上のため、鉄道事業者へ運行本数の確保や編成数の増量を要望し、運輸政策審議会答申の長期目標である32年度のめざそう値から逆算した数値をめざす。(常磐線快速電車) $168\% - 4年 \times (168\% - 150\%) / 8年 = 159\%$
189	5	4	渋滞箇所数	建設総務課資料による。	主1-25号(三矢小台)の工事が完了及び3・3・7号等(幸谷・二ツ木)区間が開通し、渋滞の解消が見込まれることから設定した値をめざす。

頁	節	項	指標	出典・計算根拠	めざそう値(28年度)設定の考え方
196	5	5	緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合(再掲)	市民意識調査による。「緑地・河川などの自然環境の満足度」という質問に対して、「十分満足している」、「まあまあ満足している」と回答した割合。	事業実施成果を受け、顧客(市民)満足度指標として設定した。32年度のめざそう値から逆算した数値をめざす。 22.0% + (25% - 22.0%) × 4年 / 8年 = 23.5%
196	5	5	流域整備面積率	河川清流課資料による。	整備した河川に流入のある雨水幹線の流域も整備面積に含め、現況の整備面積より78ha増をめざす。
196	5	5	BOD(75%)値(国分川水系)	環境保全課資料「環境の現状と対策」による。	真間川流域水循環系再生行動計画に基づく目標値(10mg/ℓ以下)をめざす。
196	5	5	水質基準達成率(国分川水系BOD)	環境保全課資料「環境の現状と対策」による。	良好な水環境を日常的に確保するため、観測値全てが真間川流域水循環系再生行動計画に基づく目標値(10mg/ℓ以下)を達成することをめざす。
197	5	5	BOD(75%)値(坂川水系)	環境保全課資料「環境の現状と対策」による。	清流ルネッサンスⅡ(第二期水環境改善緊急行動計画)に基づく目標値(5.0mg/ℓ以下)を達成することをめざす。
197	5	5	水質基準達成率(坂川水系BOD)	環境保全課資料「環境の現状と対策」による。	良好な水環境を日常的に確保するため、観測値全てが清流ルネッサンスⅡ(第二期水環境改善緊急行動計画)に基づく目標値(5.0mg/ℓ以下)を達成することをめざす。
197	5	5	河川利用イベントの参加者数	レンゲ祭り、コスモス祭り、親子が水辺で集う日、川に親しむ親子の集いの参加者数。	過去3年間のイベント参加者の推移から、毎年1,600人以上の参加者増をめざす。
197	5	5	下水道利用率(下水道利用者数/市内人口)	下水道維持課資料による。	下水道利用率、前年度に対して概ね1ポイントの増をめざす。
203	5	6	水道事業に満足している人の割合	水道部「松戸市水道事業に関するアンケート調査」による。	32年度めざそう値の通過点として年1ポイントの向上をめざす。

頁	節	項	指標	出典・計算根拠	めざそう値(28年度)設定の考え方
203	5	6	浄・配水施設の更新率	浄・配水施設の主要設備の更新実績。	浄・配水施設の更新計画に基づき設定した値をめざす。
208	6	1	住み続けたいと思う人の割合	市民意識調査による。「あなたは、これからも松戸市に住み続けたいと思いますか」という質問に対して、「住み続けたい」、「できることなら住み続けたい」と回答した割合。	24年度「市民意識調査」で、住み続けたいと回答しなかったおよそ35%の人のうち、5%が住み続けたいと思うことをめざす。
208	6	1	行政サービスの改善度	市民意識調査による。「あなたは、全体として松戸市の行政サービスについて、どのように感じていますか」という質問に対して、「以前より非常に良くなっている」、「以前より多少良くなっている」と回答した割合。	24年度調査結果が前回調査と同様の傾向であったため、引き続き、25年度に設定していた29.4%をめざす。
208	6	1	後期基本計画のめざそう値の達成率	めざそう値を達成した指標数 ÷ (全指標数-1) この指標を除くため、全指標数から1を除く。	計画書に掲載しているめざしたい将来像を実現するため、すべての指標について、めざそう値の達成をめざす。
209	6	1	行政情報入手手段に係るホームページの割合	市民意識調査による。「あなたは、松戸市の行政情報を主に何によって入手しているかお答えください」という質問に対して、「松戸市のホームページ」と回答した割合。	32年度のめざそう値達成に向け毎年1ポイントずつ上昇した数値をめざす。
209	6	1	インターネットを利用している人の割合	市民意識調査による。「あなたは、ご自身でインターネット(携帯電話によるネット利用を含む)を利用しますか」という質問に対して、「毎日のように利用している」、「時々利用している」、「たまに利用している」と回答した割合。	32年度めざそう値に向けた、通過点として設定した数値をめざす。
209	6	1	いきいきと働くことができる職員の割合	人事課「職員アンケート調査」による。	いきいきと働くことができている職員の割合を増やすことをめざす。

頁	節	項	指標	出典・計算根拠	めざそう値(28年度)設定の考え方
217	6	2	財政力指数	地方交付税の算定結果による。	32年度めざそう値に向けた、通過点として設定した数値をめざす。
217	6	2	経常収支比率	決算資料による。	32年度めざそう値に向けた、通過点として設定した数値をめざす。
217	6	2	自主財源比率	決算資料による。	良好な行財政運営のため、自主財源の確保をめざす。
217	6	2	将来負担比率	決算資料による。	健全な財政を維持しつつ、活力ある松戸市とするため、まちづくりにも対応した値をめざす。